

旧陸軍登戸研究所

旧陸軍登戸研究所は、現在の明治大学生田校舎を含む広い地域に何十棟もの建物を抱えていたといわれています。1939年4月に陸軍科学研究所の秘密戦資材研究室を登戸出張所として設置されました。1942年に陸軍兵器行政本部管轄の陸軍第九技術研究所となり、参謀本部第二部第八課に直結していました。参謀本部第二部第八課は、謀略・諜報を指揮していたので、陸軍中野学校、特務機関および憲兵とは深い関係を持っていました。また、陸軍習志野学校および陸軍第六技術研究所と化学兵器研究に関係があり、陸軍軍医学校と関連し、関東軍第七三一部隊・第一六四四部隊と細菌兵器研究に関係があったことがわかっています。



現存する5号棟。かつての偽札の印刷施設。

沖縄ネットワーク首都圏の会は2008年11月に広島／大久野島スタディツアーを行いました。瀬戸内海に浮かぶ大久野島は、旧日本軍が秘密裏に化学兵器に充填する毒ガス溶液を製造していた小島で、今も当時の様子を生々しく留めている関連施設跡が多く遺されています。また、2009年8月には日本軍が化学兵器を使った中国東北地方を訪れ、1987年に日本軍遺棄毒ガスの被害に遭った李国強さんの証言をハルビンで伺い、戦争が終わった後もなお続く毒ガス被害の実態を知るとともに、日本の戦争責任問題について改めて考えさせられました。今回のフィールドワークでは、化学兵器や細菌兵器の研究が行われていた陸軍登戸研究所の遺構を訪ねます。登戸研究所に詳しい渡辺賢二さんのご案内で、貴重な戦争遺跡を詳しく見学するまたとない機会です。寒い時期のフィールドワークですが、暖かい服装で、ぜひご参加ください。

2010年 1月9日 (土)

集合：午後2時 終了予定：午後4時

集合場所：小田急線生田駅改札口

※急行は停まりません。新宿から急行ご利用の場合は「向ヶ丘遊園」でお乗換え下さい(約30分)。

参加費：500円

定員：30名 (事前予約制 2009年12月18日締め切り)

※予約は FAX 044-986-4645 E-mail ken-shibata@nifty.com (柴田) まで。

ガイド：渡辺賢二さん(明治大学講師／旧陸軍登戸研究所の保存を求める川崎市民の会)

主 催：沖縄平和ネットワーク首都圏の会 (連絡先 03-3295-3415 高文研内 山本)

E-MAIL : metro@okinawaheiwa.net ホームページ : http://okinawaheiwa.net/metro/